

未来の風をつかみ、大きく羽ばたけ

The University of Kitakyushu Information SEIRAN

発行日／2012年1月13日 発行元／北九州市立大学広報入試課

# Seiran

Vol.27

公立大学法人

北九州市立大学 学報

●就業力育成支援事業

ひびきのの取り組み

Enjoy UK Life

ゼミ紹介

会議・Topics

# 青風

題字：阿南 惟正 前理事長筆

小倉の  
好きな所

特 集 大学の地域貢献度ランキングで

# 全国第1位！



# 特集 大学の地域貢献度ランキングで 全国第1位！

昨年11月、地域団体や企業・行政等と連携した活動が評価され、本学は「大学の地域貢献度ランキング調査」において、国公立大学489校の中で総合ランクイング第1位となりました。

総合ランクイングの首位は、2008年の調査以来3年ぶりの2回目。調査項目別のランクイングにおいても「企

業・行政」の項目で1位となりました。

そこで、今回の特集では、評価の高かった「地域創生学群」「国際環境工学部」「地域共生教育センター」それ

ぞれの取り組みについて紹介します。

魚町サテライトの活動のひとつ

地域創生学群 小倉実習  
「おせっかいし隊」

魚町サテライトの「おせっかいし隊」の活動は、毎週土曜日の13時～17時。活動30分前にサテライトに集合して、3人1組の2チームを編成します。活動エリアは小倉城界隈とJR小倉駅界隈。2チームのエリアが重ならないように、小倉の街を歩いて回ります。



サテライト前で出発前のA・Bチーム



困っている人や戸惑っている人がいないか注意しながら、3人が横一列に並んで歩く、歩く！



この日は、飯塚から小倉に遊びに来ていた大学生2人が小倉城を見たいけど、どう行けばいいか迷っているとのこと。メンバーが小倉城まで案内してあげることに。



## 大学の地域貢献度ランキング調査とは

日本経済新聞社産業地域研究所が全国の国公私立大学を対象に調査を実施。研究成果や人材を地域に役立てる「地域貢献度」について、毎年ランキングを発表しています。2011年は731校に調査を実施し、有効回答は489校となりました。

## 本学は100点満点中85.9点をマークしてTOPに！

調査項目別ランキングでは、「企業・行政」で1位のほか、「ボランティア・防災」等の項目もすべて上位となっています。

「企業・行政」の高得点は、国際環境工学部が中心となって企業との共同開発に力を注いでいる点や、地域・企業との連携により多数の製品を生み出したことが大きな要因となっています。

また地域貢献の象徴として注目を集める「地域創生学群」と、地域ニーズと学生のマッチングを担う「地域共生教育センター(421Lab.)」の活動とともに、東日本大震災関連プロジェクトも高く評価されています。

### 魅力1 魅力1 魚町サンロード商店街にある学外拠点

#### 魚町サテライト（愛称「魚町Lab.」）

2010年10月23日にオープンした「魚町サテライト（愛称「魚町ラボ」）」は、地域団体とより深い連携を図るために、学外に拠点を設けてスタートしました。魚町サテライトは小倉北区魚町の小倉サンロード商店街内のNPO法人ヴィーナスワンの事務所ビルをお借りし、小倉にぎわいづくりや地域活動を目的に、現在1～3年まで30名ほどが参加しています。

活動の中心は、街を盛り上げるための情報発信基地として、北九州の観光スポットやイベント情報の案内。このほか毎週土曜日には「おせっかいし隊」を結成して、学生が道行く人のお困りごとに寄り添っています。



#### 「おせっかいし隊」Aチーム隊長の中嶋君

魚町サテライトは1～3年生まで30名弱が活動しています。「おせっかいし隊」をはじめ、地域の活動にいろいろ関わることで、現場に即した社会勉強をさせていただいている。

自分のなかで大切にしていることは「一期一会」。活動が多岐にわたるので、いつものその心を忘れずに取り組んでいます。

サテライトの前では南九州市の特産「知覧茶」を道行く人に無料サービスしていました。このお茶は、彼らの活動を応援したい、と南九州市の方が好意で用意してくれたものとか。香りがよくて美味しいお茶です！



#### 「おせっかいし隊」Bチーム隊長の柴田さん

困っている人に声をかけるのは勇気がいるのですが、タイミングを見計り、数を重ねることで何とかできるようになりました。

サテライトに関しては各種パンフレットも充実しているので、小倉のまち情報が必要なときは気軽に立ち寄ってください。

いつもお世話になっている方に、「たくさんの人の意見を聞いて、もっといろんな場面で交流を深めなさい」と、厳しくも温かい言葉をかけていただきました。



#### 魚町サテライト事務局の合田さん

私の役割は、サテライトに集まる学生が少しでも動きやすい環境の整備に努めること。

活動するときは照れが勝ると思いますが、恥をかきながらでもどんどん進んで自分を高めていってほしい、と思います。

# 国際環境工学部における地域貢献・共同研究の紹介

大学の地域貢献度ランキング調査で高評価をいたいた地元企業と連携・共同して開発した商品・サービスの一覧

## 魅力2

### ○ I C(半導体)の設計を自動化するソフトウェア

開発者	中武 繁寿 教授(情報メディア工学科)
製品名	高速素子自動配置など
企業名	株式会社ジーダット・イノベーション
製品概要	携帯電話や液晶テレビ等に搭載されるアナログ I C 設計の自動化を実現する最先端のソフトウェア。 これまで人の手で行っていた半導体設計工程が自動化され、作業時間の大変な短縮が可能となった。

### ○再生医療や創薬・癌研究に貢献する高機能な細胞チップシリーズ

開発者	中澤 浩二 准教授(環境生命工学科)
製品名	マイクロスフェアレイ、細胞分化コンパクトデバイス
企業名	S T E Mバイオメソッド株式会社
製品概要	バイオ分野の基礎研究、臨床研究、新薬開発、食品開発などに活用され、今後、再生医療や創薬、癌研究などのバイオメディカル分野への貢献が期待されている。

### ○環境に優しい泡消火剤及び高機能新型消防車

開発者	上江洲 一也 教授(環境生命工学科)
製品名	ミラクルフォーム、ミラクルキャフスカー(専用消防車)
企業名	シャボン玉石けん株式会社、株式会社モリタ
製品概要	ミラクルフォームは、石けんを主成分とする毒性が極めて低い環境に優しい泡消火剤。少量の水での消火が可能。 産学連携功労者表彰「総務大臣賞」の受賞歴あり。

### ○廃プラスチック油化技術

開発者	藤元 薫 特任教授、黎 晓江 教授(エネルギー循環化学科)
製品名	廃プラスチック油化装置
企業名	株式会社エクアール、株式会社リサイクルエナジー、エムアイ技研株式会社他
製品概要	廃プラスチックを高品質の燃料に変換する技術。安全性が高く、ランニングコストも安価で高品質の燃料が得られることから、国内の自治体、メーカーのみならず、アジア各国からの問い合わせも多く寄せられている。

### ○溶射技術による高性能殺菌・消臭光触媒製品

開発者	森田 洋 准教授(環境生命工学科)
製品名	高性能光触媒製品 (殺菌タイル、空気殺菌、脱臭分解空気浄化機)
企業名	株式会社フジコー
製品概要	高性能殺菌タイルは、室内光で世界最高性能の殺菌効果があり、公衆トイレ、介護施設等のトイレ等で使用され、優れた悪臭対策、殺菌効果を発揮する。また、空気清浄機は、従来品に比べて飛躍的に殺菌効果の高い製品の開発に成功した。

### 大學堂

大學堂は、九州フィールドワーク研究会(文学部竹川研究室)が北九州の台所「旦過市場」で運営しているコミュニケーション・スペースです。昨年は2階にギャラリー「屋根裏博物館」も完成しました。音楽イベントやソーシャル・ビジネス(大學丼やグッズの販売等)の拠点として、多くの市民や観光客との交流の場として活用されており、地域の幅広いネットワークを築いています。



### コラボラキャンパスネットワーク

本学、「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」「北九州子育ち・親育ちエンパワーメントセンターBee」「高齢社会をよくする北九州女性の会」「GGPジェンダー・地球市民企画」の5団体が、北方キャンパス内でフリースペース「ハロハロカフェ」や学内菜園活動「コラボラ菜園」など、多世代交流・地域づくり事業を展開しています。



### 黒崎まつなガプロジェクト

このプロジェクトは、空き店舗が年々増加しつつあることに危機感を抱いたJR黒崎駅前にある熊手銀天街組合が、国際環境工学部赤川研究室とともに始めたものです。これまでに交流スペースの設計・施工、カフェの実施等に取り組んできました。今後も商店街の景観向上活動など様々な形で商店街の活性化に取り組んでいきます。



魅力3

# 地域共生教育センター(421Lab.)

## 東日本大震災関連プロジェクト

昨年3月11日に発生した東日本大震災によって、壊滅的な被害を受けた東日本地域をはじめ、日本は大きな打撃を受けました。

この大震災に対して、大学として支援を行なっていくために立ち上がったのが東日本大震災関連プロジェクトです。今回の大震災を一人ひとりが受け止め、学生として何ができるか、何をすべきかを考えて、それを大学として組織的かつ継続的に実行に移していくことを目的に活動しています。

学生ボランティアとして現地に赴き復興支援を行った学生のリポート



### 東日本大震災関連プロジェクトに参加して

地域創生学群 3年 土田 楓

東日本大震災関連プロジェクトとして、9月16日～24日の9日間、宮城県の南三陸町へ行かせていただきました。3月11日に震災が発生してから、自分にも何かできることはないだろうかと考え、プロジェクトの話を聞いたと同時に、参加する意思を伝えました。東日本大震災はとても被害が大きく、本当に復旧・復興するまでには継続的かつ組織的な活動が必要となると思っていましたが、心のどこかで同じ日本で起こっていることと実感できていない自分もいました。

そんな思いのなか現地へ到着し、まず感じたことは「半年も経過しているのに、まだこんな状態なのか」というものでした。東北から遠く離れた北九州で生活する私にとって、半年間という時間はとても長いものに思えていましたが、現地の状況からすると「まだ半年」という様子でした。私達は、ボランティアセンターの活動の1つとし

て、側溝掃除を行ったのですが、その側溝は全く手付かずで、震災発生時の半年前から時間が止まっていました。中からは、私達も普段使っているような多くの生活用品が次々と出てきて「これは誰が使っていたのだろうか」「今、瓦礫として仕分けているけど、誰かの大切なものだったらどうしようか」と、何度も手を止めて考えました。そこに人が住んでいた証となる、それらのものを見た時に、初めてここに津波が襲ったということを実感しました。

現地は、まだまだ人手不足なようで、復興までに長い年月がかかると思われます。それでも、ボランティアセンターには、毎日全国からボランティアとして人が訪れており、少しずつ復旧・復興へ進んでいることも知りました。私達が分かる範囲の事ではありますが、現地の様子や今の状況を、一人でも多くの人に知ってもらいたいと思います。そして、東日本大震災のことを忘れずに、胸に留めておくことが大切だと感じました。



### スクールボランティア

北九州市教育委員会の「学生ボランティア事業」の一環として、北九州市内の小中学校・特別支援学校の38校で行っているボランティア活動です。教材の準備や後片付けの手伝いのほか、学習につまづいている児童・生徒への個別支援、課外活動(部活動等)の支援なども行っています。



### 環境修学旅行案内ガイド

市外から環境モデル都市・北九州市を訪れた「環境修学旅行」中のバスに乗り込み、生徒たちに公害を克服した歴史や環境に対する同市の取り組みなどの紹介を行っています。学生自身を感じしたことなどを織り交ぜながら等身大でガイドするよう努めています。



# ENJOY! THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU LIFE!

北九州市立大学には様々なサークル、学生活動があり、それぞれ活気に満ちた学生生活を楽しく送っています。そんなサークル活動や学生活動の成果をご紹介します。

## 語 学

### 「第25回全日本学生中国語弁論大会」で、「毎日新聞社賞」を受賞

外国語学部 中国学科2年 寺口安美

平成23年11月26日に京都外国语大学で開催された「第25回全日本中国語弁論大会」において、中国学科2年生の寺安美さんが「毎日新聞社賞」を受賞しました。

この大会には、全国各地の10大学(京都大学・京都外国语大学・大阪大学・名古屋外国语大学・愛知県立大学・神戸外国语大学・天理大学・広島大学・長崎外国语大学・北九州市立大学)から総勢21名の学生が参加しました。



## 交換留学生

### 「俺と一緒に、熱く燃えようぜ！」

オックスフォード・ブルックス大学 カプラン・ニルス

オックスフォード・ブルックス大学の学生と比較して、北九大の学生の印象はどうですか？

⇒北九大の学生よりもオックスフォード・ブルックス大学の学生の方が、よくお酒を飲みに行ったりして、毎日を楽しんでいます。でも、勉強も一生懸命しているんですよ。

北九大のどこが好きですか？

⇒スタッフも学生もみんな親切ですね。優しく接してくれます。

北九州で好きな場所と、その理由を教えてください。

⇒“epidemic”というバーです。そこのコーヒーが美味しいんですよ。一度行ってみてください。

休みの日は何をしていますか。

⇒自宅でのんびりビデオゲームをしたり、一生懸命楽器の練習をしたりします。それから友達と食事をします。たくさん食べるのが楽しみです。



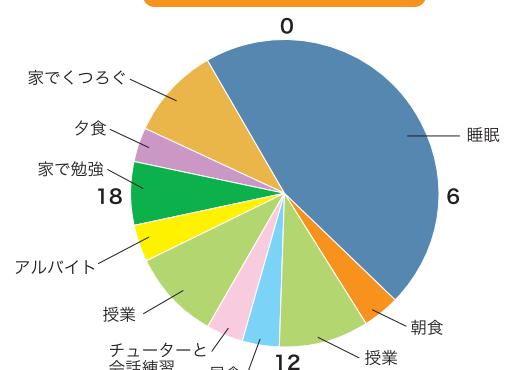
北九大生にメッセージをお願いします。

⇒無理だらうと笑われても、意地を支えに生きがいを追おう！

道が無ければ、自分の腕で道を作ろう！

皆の胸の中に、生き方の火を火山のように燃えさせよう！

#### カプランさんのある日



## スポーツ 1

### 軟式野球部が第28回西日本学生軟式野球選抜大会にて準優勝

平成23年11月14日から3日間、福岡県営春日公園野球場を中心に広島・関西・西日本・九州の軟式野球連盟から上位2大学、合計8大学のトーナメント戦が行われました。

本学軟式野球部は1回戦2回戦と無難に勝ち進み、決勝では川崎医療福祉大学と戦いました。

決勝戦は本学が2点を先制したものの最後は逆転され、惜しくも準優勝という結果を収めました。



## スポーツ 2

### 少林寺拳法部が第42回少林寺拳法全九州学生大会で最優秀賞を受賞

平成23年11月27日に西南学院大学体育館で行われた、第42回少林寺拳法全九州学生大会にて、本学少林寺拳法部が総合の部で最優秀賞に輝きました。



ENJOY! THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU LIFE!  
*Special editing*

# 第6回 スポーツフェスタ2011



平成23年10月10日(月・祝)～23日(日)に第6回スポーツフェスタ2011を開催しました。

今年度は、種目の見直しをおこなって、新たにバドミントンを取り入れ、体育祭、バレーボール、ソフトボール、バドミントン、ドッジボール、バスケットボールの6種目を開催しました。北方キャンパス・ひびきのキャンパスの学生・教職員が参加し、その数は延べ991人でした。

各種目の1位～3位やMVP、チーム名グランプリを11月3日(木・祝)に青嵐祭のメインステージで表彰(写真左)しました。

たくさんのご参加に、スポーツフェスタ実行委員一同、感謝しております。来年度も学生・教職員の皆さんに楽しんでもらえるようなスポーツフェスタを開催したいと思います。



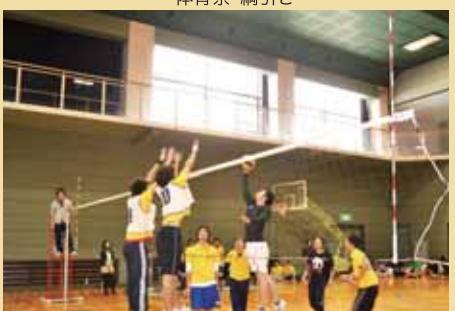
体育祭 純引き



体育祭 騎馬戦



バレーボール



バレーボール



ソフトボール



バドミントン



ドッジボール



ドッジボール



バスケットボール

# 第65回青嵐祭 「美麗(みらい)～絆の響鳴～」 を開催

北方キャンパス

平成23年11月3日(木・祝)～11月6日(日)、第65回青嵐祭『美麗(みらい)～絆の響鳴～』が開催されました。本学学生や一般の皆さんなど19,000人を超える方が来校され、例年以上の盛り上がりとなりました。

ステージ企画では、応援団・チアリーダー部、よさこいサークル灯炎、大道芸愛好会等のサークルが公演したほか、「行けMen's」や「ミスコン」を実施する等、様々な催しを行いました。教室企画でも、落語研究会の寄席、



チアリーダー部公演



アカペラの森ライブ

アカペラの森のライブ、ラテンアメリカ研究会の展示等、文化系サークルが日頃の成果を披露したほか、「お化け屋敷～感染病棟24時～」なども大変好評でした。また、タレントのブラザートムさんのトークショーや今人気のはんにゃ、ダイノジ、メガモッズが出演した芸能人お笑いライブは、来場者を楽しませてくれました。

今回も、学生としての自主活動や研究活動の成果を十分に発揮し、地域社会に貢献することができました。



模擬店



ステージ企画

# 第9回響嵐祭 『～天才の祭典 やるんダ！ ひびきの！～』を開催

ひびきのキャンパス

平成23年11月5日(土)、6日(日)の二日間にわたり第9回「響嵐祭」が開催されました。「響嵐祭」は北九州学術研究都市全体のイベント「ひびきの祭」との同時開催で、今年も約10,000人と多くの方にご来場いただき、大いに盛り上りました。

当日は学生のステージイベントに加え、人気お笑い芸人の響やサンドウィッヂマンのお笑いライブのほか、ブライダル情報誌『メロン』のCMソングでおなじみのも



ステージイベント



もちつき大会

もちひろこさんのコンサートを開催。また、学術研究都市開設10周年を祝ってもちつき大会を行いました。

環境に配慮した大学祭の運営も「響嵐祭」の特徴です。会場内にゴミの分別を徹底すべくエコステーションを設置するなど、国際環境工学部らしい、エコな大学祭の運営を目指しています。

今後も地域に愛されるイベントとして「響嵐祭」を盛り上げていきたいと思います。



エコステーション



後夜祭

# 人材育成のキーワードは地域との連携

～文科省の「大学生の就業力育成支援事業」に選定～

国際環境工学部では平成22年度から『地域教育及び産業との連携による人材育成』をテーマとした就業力育成支援事業を進めています。専門技術者を目指す学部生に対し、地域に根ざした「環境・ものづくり産業」についての理解を深化させるとともに、教育課程やキャリア支援の充実を図り、企業や教育機関等の地域社会と連携した就業実践を行うことにより、学生の社会的・職業的自立を培うものです。

今後も、全学生の『就業力』修得を目標に、取り組みをさらに発展させていく予定です。



地元実務者による「職業と人生設計」特別授業

## 具体的な取り組み

### 1. 教育課程・キャリア教育の充実

初年次から、「職業と人生設計」教育を行うなど、体系的な就業力育成カリキュラムを組んでいます。また、地元産業界で活躍する実務者を講師に、大学で学ぶ専門技術がどのように役立っているかなどを学習します。

### 2. 学生の自主的活動

ものづくり産業の基盤形成支援となる「ものづくり教育ボランティア」や「環境ボランティア」など地域活動を行うことで、基礎知識の深化、コミュニケーション能力の強化、指導力・協調性・社会性を培っています。特に、小学校を中心とした「理科実験補助・ものづくり学習」などを行い、地域での社会活動を進めています。

### 3. 地域との交流・連携

「ものづくり技術実習」「技術者講和」「企業見学」等により北九州市の基盤である「環境・ものづくり産業」に携わる技術者・実務者と学生との交流連携を進めています。また、将来のキャリアを考えるための「インナーシップ」を積極的に行うことで、地域のものづくりについて理解を進めています。

### 4. 地域ものづくり交流センターの設置・運営

学生の職業観、基礎知識の確認と深化、企画力・指導力などの就業力を培うことを目的に、平成23年4月に地域ものづくり交流センターを開設し、上記「2.学生の自主的活動」と「3.地域との交流・連携」を支援しています。昨年の夏休みには約50名の学生が主催・企画したサマースクールを開催し、小学生約200名と保護者の参加がありました。また現在、地域連携を生かした新規キャリア教育科目の企画を進めています。



学生によるものづくり活動



地元の経営者と学生との交流会



小学校サマースクール(理科実験)

# 北九州市立大学 ゼミ紹介

## 翻訳ゼミが 日本文学に挑む！

外国語学部英米学科 准教授 ダニエル・ストラック

ストラック翻訳ゼミでは未翻訳の日本文学作品を英語に翻訳しようとしています。ゼミの学生が日本文学の作品を自ら翻訳し、教員を含めて全員体制でそれを修正し、できる限り優れた訳を目指しています。日本文学において、海外で英訳がないために未公開の素晴らしい作品は数えきれないほどある現状を受け止めて、少しでも日本文学・日本文化をアピールすることができたら、学術的に意義ある行為だと考えています。英米文学の和訳と比較して、需要が限られていますが、それでも最終的な目的は出版です。

ゼミの特色は、難解な文学作品の内容を徹底的に調べて理解した上、それを上等で文芸的な英語に改めることです。主に著作権が切れている大正、明治の文学を翻訳しているため、歴史的な課題は山積みですが、全員体制で作業すれば、様々な難解な問題を乗り越えることができるという手応えを感じています。ゼミ生はその過程によって、言語及び文化について深く考えるようになり、英語の



ストラックゼミ



バイリンガルでのディスカッション

語彙をネイティブ・レベルまで増やし、英作文に対する理解をより深めています。学生は熱意をもって作品に対する自分の意見を表現する際、作品に関するディスカッションはバイリンガルで飛び交いますが、ゼミの雰囲気は意外に愉快なものになることもあります。まだ新しいゼミですが、今後、日英翻訳ゼミの活躍と貢献にご期待下さい。



### PROFILE

Daniel C. Strack(ダニエル・ストラック)

外国語学部英米学科 准教授

九州大学大学院比較社会文化専攻博士課程単位取得退学。著書では、*Literature in the Crucible of Translation: A Cognitive Account*(大学教育出版、2007年)を執筆しました。ゼミの他に「日英翻訳演習」、「アメリカ研究」、「日英文化研究」などを担当しています。



橋原ゼミ



現地での聞き取り調査



### PROFILE

堀原 真二(ならはらしんじ)

法学部政策科学科 教授

北九州市生まれ。早稲田大学政治学研究科博士後期課程、明治学院大学法学部非常勤講師を勤めた後、1998年4月より北九州市立大学法学部講師。米国シラキュース大学マックスウェル・スクール在外研究員(2000年4月～2001年9月)を経て、2005年より現職に。北九州市を中心とした「大都市の局地的高齢化(限界集落化)」あるいは「大都市の限界コミュニティ」の研究が現在の主たる研究テーマ。

## 自分の眼でしっかりと現実を見て考察する。

法学部政策科学科 教授 楠原 真二

楠原ゼミは、まちづくりを中心とした地域公共政策がテーマのゼミで、政策研究を通して地域貢献・社会貢献することをゼミの主たる目的として活動しています。

政策科学あるいは公共政策研究は「問題解決学」と言われていますが、理論的考察のみでは今日の様々な問題に対する解決策を提案することはできません。特に、まちづくりではそうです。そこで楠原ゼミでは、まず現場に足を運び、地域社会が抱える問題を自らの目で確かめることを重視します。そして、現場の人たちへの聞き取り調査やアンケート調査などを行い、解決策について学生が積極的に意見を出し合い、さらに地域に対して提案するようになっています。

また楠原ゼミでは、政策分析・政策提言力を高めるべく、毎年日本公共政策学会が主催する学生政策コンペに出場し、過去5年間で3回の最優秀賞(1回は3位入賞)を獲得しています(平成23年度については『毎日新聞』夕刊12月3日1面に掲載されました)。

理論的側面に加え、自分の眼でしっかりと現実をみて考察し、理路整然と自分の意見が主張できる学生が育つことを期待しています。

# Information

## 会議開催

### 第23回経営審議会

平成23年12月14日(水)

#### 【審議事項】

- 第1号 情報総合センター及び図書館の設置について
- 第2号 環境技術研究所の設置について
- 第3号 国際環境工学部編入学定員の変更について
- 第4号 国際環境工学研究科入学定員の変更について
- 第5号 副専攻(Global Education Program)の開設について

#### 【報告事項】

- 1 オープンキャンパス等のアンケート結果等について
- 2 法人評価委員会評価結果(平成22年度及び第一期中期目標期間)について
- 3 北九州市立大学福岡サテライトの開設について
- 4 大学の地域貢献度ランキング調査の結果について
- 5 東日本大震災関連プロジェクト学生ボランティアの派遣について

### 教育研究審議会

#### 第150回

平成23年11月8日(火)

- ・教員の採用について
- ・再任審査委員会の設置について
- ・国際環境工学部編入学定員の変更について
- ・国際環境工学研究科入学定員の変更について
- ・グローバル人材育成プログラムの開設について

#### 第151回

平成23年11月22日(火)

- ・教員の人事について
- ・情報総合センター及び図書館の設置について
- ・副専攻の開設及びオープン科目センターの設置について
- ・組織の設置に伴う関係規程の改正について

#### 第152回

平成23年12月6日(火)

- ・教員の採用について
- ・副専攻(Global Education Program)の開設について
- ・環境技術研究所の設置について
- ・情報総合センター規程について

#### 第153回

平成23年12月20日(火)

- ・教員の人事について
- ・図書館長及び情報総合センター長の選考について
- ・学年暦について
- ・国際教育交流センター規程の改正について

## Topics

## 福岡サテライト開設！

### 就職活動の強い味方！気軽にご利用ください。

昨年12月1日、福岡地区での本学学生の就職活動を支援するため、就活の中心となる天神に「北九州市立大学福岡サテライト」を(福岡市中央区天神二丁目8-41 ☎092-725-2900)設置しました。

利用は、月曜日～金曜日の午前10時～午後6時。カウンセラーを配置(毎週水曜日、午後1時～6時・事前予約を)するほか、情報収集のためのパソコン・書籍や情報交換のための打合せテーブル、更衣室など、充実した施設を備えています。



福岡朝日会館13階  
福岡  
サテライト

